

# ヘルスケア・テクノロジー関連株の組入れを拡充

日本ニューテクノロジー・オープン(愛称 地球視点)  
追加型投信/国内/株式

2021年8月10日

- 7月末の基準価額は19,690円となり、年初来の分配金再投資基準価額は、概ね20,000円から22,000円の範囲内で推移しています。
- 当ファンドでは7月にヘルスケア・テクノロジー関連株の組入れを増やしました。
- 当レポートでは、ヘルスケア・テクノロジー関連株の組入れを増やした背景・考え方についてご案内いたします。

## 基準価額の動き

当ファンドの7月末の基準価額は19,690円となりました。6月15日にお支払いした分配金1,100円を考慮した分配金再投資基準価額は、今年に入ってから、概ね20,000円から22,000円の範囲内で推移しています。

図表1.年初来の分配金再投資基準価額とTOPIX



※分配金再投資基準価額は、2020年12月30日を起点として算出しております。

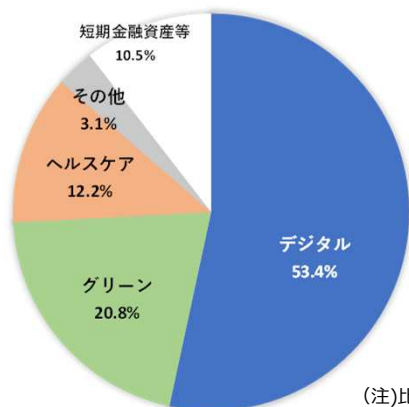
(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

## 注目分野別の組入比率...ヘルスケア・テクノロジー分野の組入比率を大幅に引き上げ

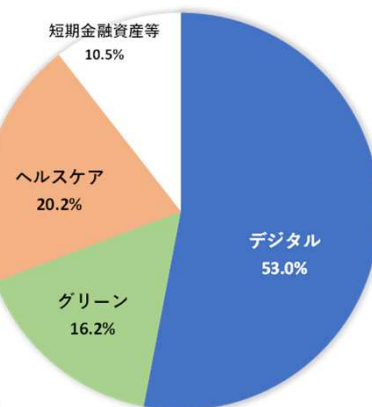
現在当ファンドでは、①経済・社会のデジタル化の進展から恩恵が見込まれるデジタル・テクノロジー分野、②地球温暖化を抑制する脱炭素政策から恩恵が見込まれるグリーン・テクノロジー分野、③人類永遠の願望である健康と美を支えるヘルスケア・テクノロジー分野を重点投資分野と位置付けています。

この姿勢は変わりませんが、7月は、グリーン・テクノロジー分野およびその他の組入比率を引き下げ、ヘルスケア・テクノロジー分野の組入比率を大幅に増やしました。

2021年6月末



2021年7月末



(注)比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。  
また、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。  
なお、区分は当社が独自に設けたものです。

### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本ニューテクノロジー・オープン(愛称 地球視点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## なぜヘルスケア・テクノロジー関連株を増やしたのか

- ① 積極的な財政政策・金融政策により、世界の景気や企業業績は急速に回復してきましたが、回復スピードが最も速くなるのが今年4-6月期になると思われ、7-9月期以降は徐々に減速していくと見ております。
- ② 加えて、新型コロナウイルスではデルタ株と呼ばれる変異株の感染が拡大し、ワクチンを接種した人でもデルタ株に感染する方がいるとの情報もあります。この場合、再び経済活動に対する制約が強まり、景気回復に水を差す可能性が台頭してきたと考えられます。
- ③ 一般的に景気の回復が加速する局面では、景気による業績への影響が大きい景気敏感株と呼ばれる銘柄群が株式市場での評価を高める傾向にありますが、こうした銘柄群は、景気の拡大スピードが鈍化するとともに増益率が低下し、市場で評価されにくくなる傾向にあると考えています。
- ④ 景気の拡大スピードが鈍化する局面では、景気による業績への影響が小さいディフェンシブ株と呼ばれる銘柄群が市場で評価されやすい傾向にあると考えており、ヘルスケア・テクノロジー関連株は典型的なディフェンシブ株であるため、今の投資環境では市場での評価が高まり易いと判断し、当ファンドでの組入比率を引き上げました。
- ⑤ 一方、デジタル・テクノロジー関連株やグリーン・テクノロジー関連株の中でも、景気による業績や株価への影響が相対的に大きいと思われる銘柄の組入れを削減しました。

このように、ヘルスケア・テクノロジー関連株の組入れを増やしたのは、主としてマクロ経済に対する見方が変わってきたことに起因しています。マクロ経済に対する見方が変われば、今後も分野別の組入比率を調整する可能性があります。

## 新規に組み入れたヘルスケア・テクノロジー関連株

7月に新規に組み入れたヘルスケア・テクノロジー関連株の中から3銘柄をご紹介します。

### 富士フイルムホールディングス

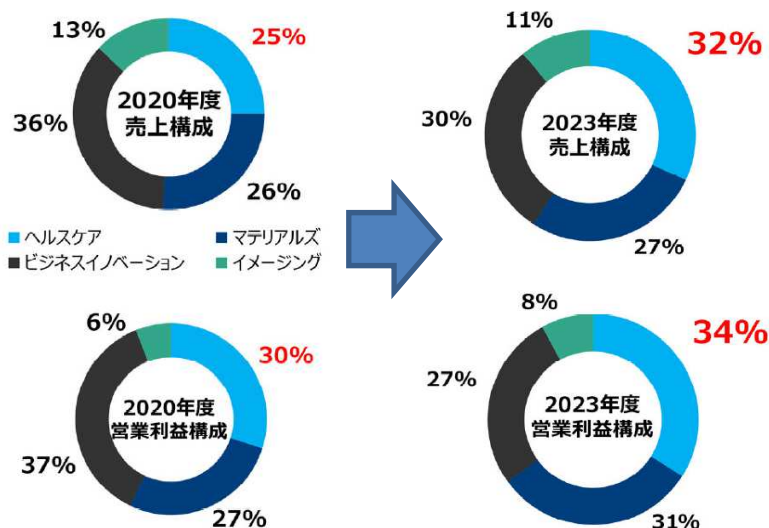
今年4月に発表された中期経営計画では、2023年度にヘルスケア事業の売上高を8600億円、営業利益を1030億円（2020年度実績は売上高5678億円、営業利益558億円）に引き上げるとの目標が掲げられました。2023年度にはヘルスケア事業を売上高、営業利益ともに最大のセグメントに成長させる計画となっています。

同社は、かつては写真用のフィルム・印画紙が主力事業でした。デジタルカメラの普及とともに、これらの事業は縮小し、代わって複写機や液晶パネル用フィルムが主力事業になりました。そしてここ10年ほどはヘルスケア事業の育成に投資して成果を上げており、事業ポートフォリオの新陳代謝を着実に進めている企業だと評価しています。（図表2）

### ステムセル研究所

今年6月にIPOを行って上場した企業です。さい帯血(出産時のへその緒から取り出す間葉系幹細胞)を長期間冷凍保管する事業を行っています。保管された細胞は、再生医療や細胞治療に活用されます。

図表2.ヘルスケア事業を最大のセグメントに成長



※上図は、同社のセグメント別業績目標です。  
(出所)同社中期経営計画Vision2023より岡三アセットマネジメント作成

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本ニューテクノロジー・オープン(愛称 地球視点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日本ニューテクノロジー・オープン(愛称 地球視点)  
追加型投信／国内／株式

一度保管を始めると長期間にわたって保管料収入が入ってきます。これに、毎年新たに保管を開始する細胞の採取技術料と保管料が積み上がっていくことで、長期間にわたって安定的に業績の拡大が見込まれます。

日本では出産時にさい帯血を保管する割合は1%に達しておらず、同社の業績拡大ポテンシャルは大きいと見ております。(図表3)

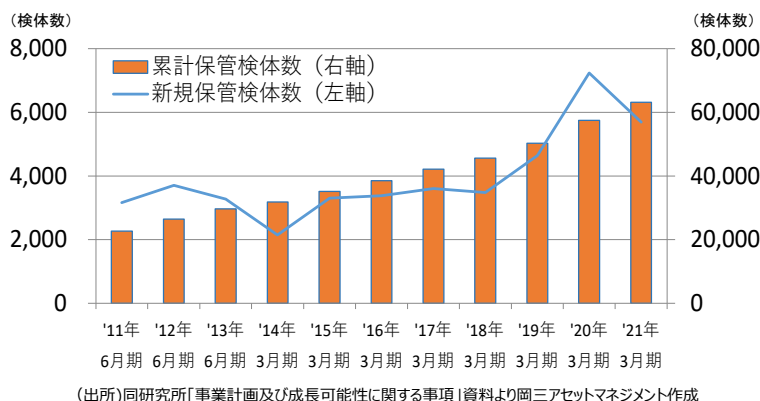
メニコン

コンタクトレンズの大手メーカーで、売上高、営業利益とも着実に成長しています。メルスプランという月次定額制サービスの会員数拡大と、海外売上高の拡大が業績拡大を牽引しているものと考えられます。

将来については、同社は2026年3月期に売上高1400億円(2021年3月期実績は862億円)、営業利益率12%(同9.4%)とする中期経営計画を掲げています。(図表4)

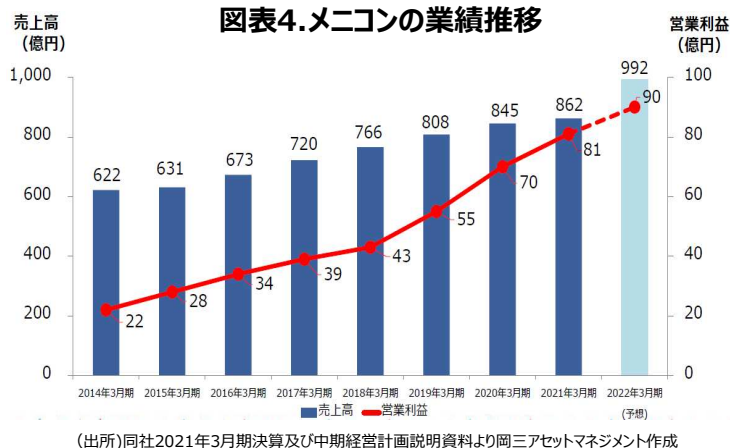
(注) 本資料における銘柄紹介は、情報提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

図表3.累計・新規保管検体数の推移



(出所)同研究所「事業計画及び成長可能性に関する事項」資料より岡三アセットマネジメント作成

図表4.メニコンの業績推移



(出所)同社2021年3月期決算及び中期経営計画説明資料より岡三アセットマネジメント作成

運用状況

(作成基準日: 2021年7月30日)

基準価額	19,690 円
純資産総額	38.3 億円

※基準価額は1万口当たりです。

最近5期の分配金の推移		
第17期	2019/6/17	400 円
第18期	2019/12/16	500 円
第19期	2020/6/15	500 円
第20期	2020/12/15	1,000 円
第21期	2021/6/15	1,100 円
設定来合計		12,100 円

※分配金は1万口当たり、税引前です。運用状況等によっては分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

ポートフォリオ構成比率	
株式	89.5%
(国内株式)	(89.5%)
(内先物)	(0.0%)
短期金融商品その他	10.5%
組入銘柄数	42銘柄

※当ファンドの純資産総額に対する比率です。

騰落率						
	1ヵ月前	3ヵ月前	6ヵ月前	1年前	3年前	設定来
分配金再投資基準価額	▲ 4.04%	▲ 1.64%	2.43%	38.31%	41.30%	304.16%

※騰落率は、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の各月の月末および設定日との比較です。※分配金再投資基準価額の設定来騰落率は、1万口当たりの当初設定元本との比較です。※当ファンドは、特定の指数に連動する、または上回る運用を目指していないため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

国内株式市場別組入比率(純資産比)					
市場	東証第1部	東証第2部	その他市場	ジャスダック	マザーズ
組入比率	85.5%	0.0%	0.0%	1.3%	2.7%

組入上位10業種		組入上位20銘柄			
1 電気機器	26.5%	1 セブン&アイ・ホールディングス	5.1%	11 富士通	2.4%
2 情報・通信業	10.6%	2 日立製作所	4.1%	12 キーエンス	2.4%
3 化学	9.3%	3 トヨタ自動車	3.8%	13 オリンパス	2.3%
4 精密機器	8.1%	4 三菱ケミカルホールディングス	3.6%	14 ダイワボウホールディングス	2.3%
5 サービス業	5.7%	5 イビデン	3.0%	15 KADOKAWA	2.2%
6 小売業	5.1%	6 ソニーグループ	3.0%	16 任天堂	2.2%
7 卸売業	5.0%	7 新光電気工業	2.9%	17 リクルートホールディングス	2.2%
8 食料品	4.7%	8 野村総合研究所	2.8%	18 日本電信電話	2.2%
9 輸送用機器	3.8%	9 豊田通商	2.7%	19 メニコン	2.1%
10 その他製品	2.2%	10 東芝	2.5%	20 東海旅客鉄道	2.1%

※各比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

(作成: 運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本ニューテクノロジー・オープン(愛称 地球視点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



## 日本ニューテクノロジー・オープン(愛称 地球視点)に関する留意事項

### 【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

### 【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。  
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

### 【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

### 【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時  
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時  
換金手数料：ありません。  
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中  
運用管理費用（信託報酬）： $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.54\%$ （税抜1.40%）
- その他費用・手数料  
監査費用： $\text{純資産総額} \times \text{年率} 0.011\%$ （税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



## 販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
auカブコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
JPアセット証券株式会社	関東財務局長(金商)第2410号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)